

01 大学におけるダイバーシティ推進に関するSDについて(開催報告)

第3回目となるダイバーシティ推進に関するSDを2023年9月6日(水)に実施しました。今年度は「障がいに関わらず、学べる・楽しめる・活躍できるキャンパスづくり」をテーマにキャンパスライフセンターのカウンセラーが講演を行いました。講演では、来年4月に施行される障害者差別解消法の改正のポイントや合理的配慮の考え方、本学の障がい学生支援制度についての紹介の他、これまで支援を申請した学生たちが本学でどのように学び、社会とつながりながら成長しているかについて報告がありました。学生たちの成長ぶりを通じて、教職員が多様な学生への理解を深め、ダイバーシティの観点から、学生が活躍できるキャンパスについて考える機会となりました。



02 ダイバーシティウィーク2023 開催決定!

学生・教職員を対象に通算3回目となるダイバーシティ啓発イベント「ダイバーシティウィーク2023」を開催します。多様性を意識するきっかけの場として、グローバル(global)、ジェンダー、障がい支援、職場環境の分野において、「知る+体験する+つながる」をテーマに、シンポジウムや学生による発表など、様々なイベントを開催します。イベントに参加し、アンケートに回答した方には「カラビナマルチUSBケーブル(オリジナルデザイン版)」を数量限定でプレゼント!

※本体カラーは異なる場合があります。
数量限定につき、なくなり次第終了となります。



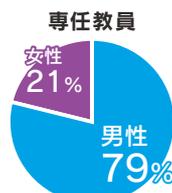
- **11/20(月)**【シンポジウム】 **障がい支援**
12:45-15:15 パラスポーツを通じて出会う、知る、つながる未来
- **11/21(火)**【異文化交流】 **グローバル**
12:00-13:30 ワールドツアー異文化体験を通じて
- **11/22(水)**【ワークショップ】 **ジェンダー**
13:30-14:30 ジェンダーの視点で考える防災・減災&防災カードゲーム
- **11/24(金)**【講演会】 **職場環境**
13:30-15:15 「アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)」を考えてみよう

03 第1回教職員交流会(開催報告)

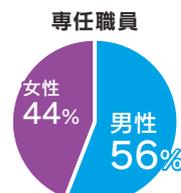
ダイバーシティ推進委員会では、教職員一人ひとりがその能力を十分に発揮できる環境づくりを推進するきっかけの場として、2022年度より「女性教職員交流会」を開催してきました。その後、交流の多様化と幅広い意見聴取を目的とし、今年度より、対象を全教職員に拡大し、4月26日(水)に「第1回教職員交流会」を開催しました。橋本副委員長による「アンコンシャス・バイアス」に関する話題提供、CUCの専任教職員・管理職・契約職員の女性比率などの教職員データとジェンダー・ギャップ指数の解説から始まり、「我々の周りにあるさまざまなアンコンシャス・バイアスについて議論し、どうしたら解決できるか」をテーマに、議論を深めていきました。大学全体としての女性比率に関するディスカッションや、家庭と仕事の両立、男性育児休業取得の推奨や職場における男女の格差について、教職員の家族が職場見学できる機会の創出、勤務時間内に教職員が交流できる場の設置など、様々な解決アイデアが挙がりました。



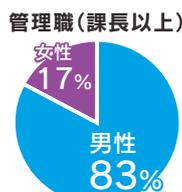
CUCの専任教職員・管理職・契約職員の女性比率



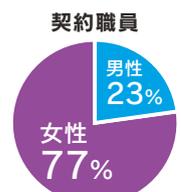
2021年「ひらく 日本の大学」調査(朝日新聞と河合塾)では、女性教職員の比率は**26%**



2020年度雇用均等基本調査(厚生労働省)では、女性正社員・正職員の比率は**27.2%**



2020年度雇用均等基本調査(厚生労働省)では、課長相当職以上の女性管理職の比率は**22.5%**(教育・学習支援業)



2022年労働力調査(総務省)では、非正規雇用における女性職員の割合は**68.2%**